

令和5年度 第1回 市川市博物館協議会 会議録

日 時：令和5年8月9日（水）午後2時から

場 所：市立市川歴史博物館 2階 講堂

出席者：協議会委員

白井 久美子、櫻庭 秀喜、大橋 弥生、富田 勇人、滝口 正哉、石井 裕正

川久保 葉子、藤村 淳、福岡 直子、松田 陽、三瀬 敬（順不同）

生涯学習部長 板垣 道佳 考古博物館長 杉山 元明

考古博物館： 主幹 堀 邦光 学芸員 松本 太郎、山路 直充、領塚 正浩

歴史博物館： 主査 清水 忠 学芸員 小野 英夫

自然博物館： 館長 久保 賢二 学芸員 金子 謙一

傍聴者： なし

**（辞令交付式）**

館 長： 本日は暑い中、またお忙しい中、お集まりくださりありがとうございます。

これより、博物館協議会委員に選任されました方々へ、任命辞令を交付いたします。

生涯学習部長より辞令をお渡しいたしますので、部長が席の前に参りましたら、自席でお立ち上がりください。

**【板垣生涯学習部長より新委員へ辞令交付】**

館 長： 市川市教育委員会を代表いたしまして、板垣生涯学習部長からご挨拶申し上げます。

**【板垣生涯学習部長挨拶】**

館 長： 続きまして、各委員の皆様より、お名前と所属等、簡単に自己紹介を賜りたいと存じます。

**【委員自己紹介】**

館 長： 次に、職員を紹介させていただきます。

**【職員紹介】**

館 長： これをもちまして、委嘱状交付式を終了いたします。

**(委員長・副委員長選任)**

館長：委員の任期満了に伴い、「市川市立博物館の設置及び管理に関する条例第11条」の規定により、新たに委員の中から「委員長」及び「副委員長」を互選していただく必要がございます。委員長が選出されるまでのしばらくの間私が進行役を進めさせていただきます。委員長及び副委員長に立候補していただける方は、いらっしゃいますか。

**【立候補・推薦なし】**

館長：前回に引き続き、白井委員に委員長を、櫻庭委員に副委員長をお願いしたいと思いますが、どうでしょうか。

**【異議なし】**

館長：改めまして、白井委員長の方から、一言ご挨拶をお願いいたします。

**【委員長あいさつ】**

館長：続きまして桜庭副委員長よろしくをお願いいたします。

**【副委員長あいさつ】**

館長：ありがとうございました。それでは進行役の任を解かせていただきます。

**(資料確認・会議成立及び公開等の確認)**

事務局：令和5年度 第1回 市川市博物館協議会の開催に先立ちまして事務局からお手元に配布した資料のご確認をお願いしたいと思います。

**【配布資料の確認】**

事務局：資料等不足等がございましたら、お申し出いただければと思います。  
それでは市川市博物館の設置及び管理に関する条例第12条第1項の規定により協議会の会議の議長は委員長が行うこととされておりますので、これより先は白井委員長に議事運営をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

白井委員長：それではまず、会議に入る前に、会議の成立並びに会議の公開につきまして事務局より説明をお願いいたします。

事務局 : 開会にあたりまして、本日は、15名中、11名の委員が出席されておりますので、「市川市立博物館の設置及び管理に関する条例第2条第2項の会議開催の規定」委員の半数以上の出席という条件を満たしておりますことから、この会議は成立していることをご報告いたします。

次に会議の公開についてですが、市川市では協議会等の会議の「公開」・「非公開」の決定について、議事に先立ち決定することとなっております。

事務局では、本日の会議を「公開」とすることと考えております。

白井 : それでは、本日の会議については、公開とすることよろしいでしょうか。

委員長 異議がないようですので、本日の会議は公開と決定いたしました。

傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。

事務局 : はい、傍聴を希望される方はおりません。

#### (報告事項)

白井 : これより、「令和5年度 第1回 市川市博物館協議会」を開会いたします。

委員長 本日の会議の内容は、報告事項2件、協議事項1件、歴史博物館企画展の見学、その他、次回の協議会の開催日程でございます。

それでは、事務局より、議題(1) 報告事項 令和4年度事業実施状況に対する自己評価について、ご説明をお願いいたします。

#### 【考古・歴史・自然博物館学芸員が令和4年度の事業実施状況を説明】

(考古 松本学芸員、 歴史 小野学芸員、 自然 金子学芸員)

堀主幹 : 続きまして、私からは、3館の総合評価について報告させていただきます。

お手元に配布しました会議資料、1ページ目「令和4年度 事業実施状況に対する外部評価」をご覧ください。

この評価につきましては、先ほど各館の担当者が事業実施にあたり、自己評価した内容を、総合的にまとめたものでございます。

まず、1点目「収集・保管及び調査研究事業」についてで、ございます。

成果としまして、3館ともに資料などの整理ができたこと、また、考古博物館では調査や報告書作成などの随時実施、歴史博物館では目録作成が進んだほか、研究会への参加も年間を通して実施できたこと、自然博物館では収蔵資料台帳のデータベース化や生物調査などが実施できたことが挙げられます。

なお、今後の課題としまして3館ともに少しずつですが、資料のデジタル化を進めていきたいと考えております。以上のことから、総合自己評価は「B」としました。

次に、2点目「展示事業」についてで、ございます。

成果としまして、3館ともにコロナウイルス感染前に近い状態で、企画展など実施可能な範囲で展示開催ができたことが挙げられます。

なお、今後もしばらくは、コロナ禍に対応した内容で展示事業を行っていく必要があると考えております。以上のことから、総合自己評価は「B」としました。

次に、3点目「市民向けの教育普及事業」についてで、ございます。

成果としまして、コロナ禍の市の方針の緩和に伴い、考古博物館、歴史博物館の2館では、感染拡大防止に配慮して少しずつですが再開ができたことが挙げられます。なお、自然博物館では、長田谷津散策会を試験的に1回実施したのみで、事業はほとんど実施できませんでした。

以上のことから、総合自己評価は「B」としました。

なお、今後は3館ともに少しずつですが、実施可能な範囲で事業再開に向けていきたいと考えております。

次に、4点目「学校関連の教育普及事業」についてで、ございます。

成果としまして、3館ともに、小学校などへ出張する授業や縮小日程の館務実習などコロナ禍に対応した活動を実施しました。

以上のことから、総合自己評価は「B」としました。

なお、今後も各学校から要請があれば、適宜、対応していきたいと考えております。

次に、5点目「地域連携の教育普及事業」についてで、ございます。

成果としましては、3館ともに市川博物館友の会や外部からなどの依頼により、見学会や講演の講師として協力したことが挙げられます。

以上のことから、総合自己評価は「B」としました。

なお、今後も、各公民館や市民団体から要請があれば、適宜、対応していきたいと考えております。

最後になりますが、6点目「博物館の運営事業」についてで、ございます。

成果としましては、3館ともに、例年通り「考古・歴史博物館だより」や「自然博物館だより」を制作のうえ、行事予定や事業・研究実績などを周知し、必要な施設維持管理に努めたことなどが挙げられます。

また、課題としまして、博物館の建物自体の老朽化が進んでおります。

施設の適正な維持管理が求められますので、必要な経費をしっかりと確保していく必要があると考えております。以上のことから、総合自己評価は「B」としました。

長くなりましたが、説明については、以上でございます。

白井 委員長 : 報告事項のご説明をいただいたところですが、評価に対することは、この後の協議事項の際に伺いますので、まず、報告事項についてのご質問及びご意見がございましたらお願いいたします。

松田委員 : 2点質問させていただきます。

1点目は、考古博物館の「教育普及事業学校連携」で、いくつかの事業で申し込みがなかったということですが、場合によってはもっと申し込みがあるように働きかけてみてはいかがでしょうか。また教員対象の博物館利用研修などいくつかの事業でニーズがないのであれば、他に力を回すということも考えてみてはいかがでしょうか。2点目は、考古・歴史博物館が出しておられる博物館だよりについてです。自然博物館は、紙ベースでの配布だけでなく結構前からPDFにしてカラーでオンラインでも公開しています。考古・歴史博物館だよりも、徐々にオンライン公開に向かっていくべきではと考えます。

松本 学芸員 : 1点目ですが、「教育普及事業学校連携」の申し込みがない事業のひとつである教員対象の博物館利用研修についてお答えします。これは来館型縄文体験学習のことで事前に先生方にお越しいただいて、打ち合わせや相談するものを想定していますが現在、出張型を中心で行っているため実績がない状況です。今年度は、教員の10年研修で学校の先生にお越しいただいて、今後の子供たちへの教育に役立ててくださいといった形の研修を実施しました。今後ですが場合によっては申し込みのない事業の見直しも視野に入りたいと考えております。2点目ですが、考古・歴史博物館は3年ぐらい前に公式ウェブサイトが大幅にリニューアルした時に担当課からアクセス数により経費がかかるため情報量は少なめに、その代わり見栄えの良いものを提供する形をとるよう指示され現在の形をとっております。このことにより、ツイッターやインスタグラムという市としては負担や経費もかからない媒体で、積極的に博物館の情報を配信し、市民の皆様に見ていただくといった活動を積極的に行っております。

富田委員 : 自然博物館だよりにホームページに直接アクセスできるQRコードを載せることは可能ですか。自然博物館のYouTubeがすごく面白いので、もっと市民に興味を持っていただければと思いました。

金子 : QRコードの件考えてみたいと思います。

学芸員 : YouTubeに関しては、有効なツールだと私も思っています。

小学生でもタブレットを持ってまして、事前学習でYouTubeの動画を見てから自然観察をしてくれていますので強化していきたいと思います。

櫻庭 副委員長 : 外部評価項目についてですが、博物館の職員が少ないなか皆さんの頑張りはずばらしく思います。もう少し内容を精査して「市民向けの教育普及」と「地域連携の教育普及」を統合してみたいと思います。

館 長 : この項目は博物館の運営方針の体系に沿っているため難しいと思いますが、検討させていただきたいと思います。

白井 委員長 : 他にご意見がないようなので、それでは、事務局より、議題（１） 報告事項 令和５年度館別事業計画について、ご説明をお願いいたします。

**【考古・歴史・自然博物館学芸員が令和５年度の館別事業計画を説明】**

（考古 松本学芸員、 歴史 小野学芸員、 自然 金子学芸員）

白井 委員長 : 確認ですがこれから見学する「開館４０周年記念 みなさまと歩んだ歴史博物館」と、同じネーミングで毎年やっている「発見・体験昔の暮らし」は、「企画展」の категорияが違うわけで、別の名称の方がわかりやすいと思います。検討してはいかがでしょうか。

小野 学芸員 : 検討します。

**（協議事項）**

白井 委員長 : ご意見、ご質問が出つくしたようですので、次に協議事項に移りたいと思います。それでは、事務局より、議題（２） 協議事項 令和４年度事業実施状況に対する外部評価について、ご説明をお願いいたします。

事務局 : 先ほど報告事項として説明しました、令和４年度事業実施状況に対する自己評価及び統合評価に対して、協議会としての外部評価をお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

白井 委員長 : それでは、評価についてご質問、ご意見がございましたらよろしくお願いいたします。

松田委員 : 館別及び総合自己評価の内容で、良いと私は考えます。正直申しますと、全部Bになっていまして、もう少しアクセントがついていた方が良いのではないかと思います。前もって立てた予定を着実にこなせたということで理解しました。

櫻庭副委員長 : 考古博物館の館別自己評価において「収集・保管及び調査研究事業」の誕生釈迦仏調査・報告及び「展示事業」の企画展「遺伝子からみた古代のイヌ」が開催されたことにより評価はAで良いと思います。

大橋委員 : 私も考古博物館の「展示事業」に関しましては、長年かけて、昨年度その成果を、皆さんに展示することができたということで、Aに値する評価だと思います。

白井委員長 : 櫻庭副委員長からご指摘がありました考古博物館の館別自己評価の「展示事業」についてBからA評価に変更でよろしいでしょうか。  
異議ないようなので、評価をBからAに変更します。  
また、「収集・保管及び調査研究事業」についても評価をBからAへ変更との意見をいただいておりますがこのことに対して何かご意見がございますか。

滝口委員 : 文化財指定に結び付いたという成果がありますので、A評価で良いと思います。

白井委員長 : それでは「収集・保管及び調査研究事業」についても評価をBからA評価へ変更でよろしいでしょうか。異議がないようなので、評価をBからAに変更します。他に何かご意見はございますか。

三瀬委員 : 「学校関連の教育普及事業」の館別自己評価において、考古博物館、歴史博物館の体験学習指導では多くの学校で実施されていたのは、Aに値する評価だと思います。

大橋委員 : 学校は博物館の学芸員さんの信頼が高く、必要感があって実施したってということで私もAに値する評価だと思います。また、自然博物館においても同様に多くの学校ニーズに応じて開催してますのでA評価でよいと思います。

白井委員長 : 今ご指摘のあった、考古博物館、歴史博物館、自然博物館の3館の「学校関連の教育普及事業」の館別自己評価はBからAに変更でよろしいですか。  
異議ないようなので、評価をBからAに変更します。  
また、この場合3館が全てA評価ということになるため、総合自己評価におきましても評価をBからA評価へ変更でよろしいでしょうか。こちらも異議がないようなので、評価をBからAに変更します。他に何かご意見がございますでしょうか。

櫻庭副委員長 : 「地域連携の教育普及事業」の館別自己評価において、考古博物館、歴史博物館は、博物館友の会の依頼で年間4回ほど学芸員の方に講師依頼をしており、また友の会の会報においても執筆をお願いしていることを鑑み両館ともにB評価ではなくA評

価で良いと考えます。

- 白井 委員長 : 自然博物館においても講座による講師派遣を23回の実績があるため評価はBからAにしたらどうかと思います。
- 特に異議がないということで、「地域連携の教育普及事業」についても、館別自己評価を3館とも評価をBからAに変更します。また、総合自己評価におきましてもA評価とします。これで事業の実施状況に関するメリハリがはっきりしてきたのではないかと思います。
- それでは、ご意見、ご質問が出つくしたようですので、次に議題（3）歴史博物館企画展「みなさまと歩んだ博物館」を見学したいと思います。

#### 【小野学芸員が企画展「みなさまと歩んだ博物館」について説明】

- 白井 委員長 : それでは協議会を再開したいと思います。
- 議題（4）その他 次回の協議会日程について、事務局よりお願いします。
- 事務局 : 次回の協議会の日程につきましては、令和6年3月頃を予定しております。今回同様1ヶ月ぐらい前に、皆様のご意向を伺って、日程等決定してご案内いたしますのでよろしくをお願いします。
- 白井 委員長 : ありがとうございました。
- 委員長 : それではこれもちまして、本日の日程はすべて終了させていただきます。